

## **第 12 章**

### **外部資金への申請と採択状況**



インフラ長寿命化センターは、“人”、“もの”、“場所”、“お金”もないバーチャルなセンターを有効活用し、外部資金等を獲得して、実質的な工学部センターとして機能させたいという趣旨で設立が認められた。したがって、インフラ長寿命化センターの兼務教員には、科学研究費やその他の競争的外部資金の獲得に向けて応募するようお願いしている。以下に、本センター兼務教員の競争的外部資金の獲得状況について記載する。

## 12.1 科学研究費補助金採択（インフラ長寿命化センター兼務教員）

種目	期間	研究課題名	H28年度 交付金額 (千円)	研究代表者
基盤 B	継続 26～30年	結晶組織と伸び性能による高張力鋼の疲労亀裂伝播特性の革新的向上に関する研究	2,340	勝田 順一
	継続 27～30年	有用微生物を用いた新たな地盤環境改善技術と国土保全への新展開	4,290	大嶺 聖
	新規 29～31年	光学的計測法を用いた仮設足場を用いない効率的・低コストな橋梁健全度診断手法の開発	10,270	松田 浩
	新規 29～31年	流体移動過程の可視化を活用した岩盤内三次元き裂ネットワーク水理物質移動特性の評価	7,800	蔣 宇静
基盤 C	継続 26～29年	高齢化が進む離島集落の再編に資する横断的研究	0	安武 敦子
	継続 26～29年	「災害の痕跡」の災害遺産化に関する基礎的研究	1,040	安武 敦子
	継続 26～29年	電磁波を利用したフレッシュコンクリート一括診断と電磁波レーダ法の改善	0	田中 俊幸
	継続 28～30年	き裂の3次元制御進展による超高強度平滑面の創成	650	才本 明秀
	継続 28～30年	湿潤汚損面における局部放電の放電形態と発光スペクトルおよび電流との関係	3,250	山下 敬彦
	新規 29～31年	生コン配合比検査およびコンクリートの比誘電率測定と高精度鉄筋探査に関する研究	2,210	田中 俊幸
萌芽	継続 27～29年	異常血管位置検出のための電波型腹腔鏡アンテナシステムの開発	650	藤本 孝文
若手 B	継続 26～29年	誘導加熱を利用した革新的亀裂検査法の開発	1,560	出水 享
	新規 29～31年	斜面崩壊危険性評価のための無線センサネットワークシステムによる多点計測手法の開発	1,040	杉本 知史
研究活動 スタート 支援	新規 29～30年	熊本地震で被災した補強が施されていた RC 部材の光学的計測法による再劣化機構の解明	1,430	山口 浩平

特別研究員奨励費 (外国人)	新規 29～31年	岩盤内水理物質移行機構の解明に基づく放射性廃棄物地層貯留安全性の評価	600	蔣 宇静
-------------------	--------------	------------------------------------	-----	------

## 12.2 インフラ長寿命化センター関連の事業・研究に関する外部資金

種 目	契約相手	研 究 課 題 名	金額 (千円)	代表者
受託研究	文部科学省	平成29年度「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」	16,998	松田 浩
	長崎県	道守育成支援業務委託	2,998	松田 浩
	国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)	インフラ維持管理に向けた革新的先端技術の社会実装の研究開発 (SIP)	30,000	松田 浩
受託事業	長崎市	長崎市土木技術職員等研修業務委託	1,193	松田 浩
	長崎県建設技術研究センター	道守補助員研修	596	松田 浩

## 12.3 その他の兼務教職員の外部資金

受託研究、共同研究、委任経理金の件数と金額の一覧を示す。

(H30.1.16現在)

事 項	平成29年度	
	受託研究	19件
共同研究	8件	8,663千円
委任経理金	26件	15,411千円